製品安全データシート

1 製品及び会社情報

住友スリーエム株式会社
所在地 本社 東京都世田谷区玉川台2-33-1
担当部門 オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号 042-779-2185

==========

==========

MSDS No : 07-0969-1 発 行 日 : 2005年11月14日
版 : 4.00 前発行日 : 2002年09月18日

製品名

名 称
PN5971 F2(エフ2)

3Mストックナンバー
JC-2200-2682-0

2 組成、成分情報

単一化学物質・混合物の区別: 混合物

成分及び含有量

成 分	CAS No	含有量(%)
水 化審法番号: 対象外	7732-18-5	35 - 75
石油系溶剤 化審法番号: (9)-2458 安衛法通知政令番号: 169	64742-14-9	15 - 25
セラミック 化審法番号: (1)-26	66402-68-4	10 - 20
ポリマーエマルジョン 化審法番号: 営業秘密	営業秘密	1.0 - 5.0
グリセリン 化審法番号: (2)-242	56-81-5	1.0 - 5.0
ホワイトミネラルオイル(石油) 化審法番号: (9)-1692 安衛法通知政令番号: 169	8042-47-5	1.0 - 5.0
トリエタノールアミン 化審法番号: (2)-308 安衛法通知政令番号: 380	102-71-6	0.5 - 1.5

3 危険有害性の要約

最重要危険有害性:
下記有害性並びに物理的及び化学的危険性を参照

有害性:
目、皮膚、気道を刺激することがある。
皮膚に接触するとアレルギー性皮膚反応を起こすことがある。
中枢神経に影響を与え、頭痛、めまい等を起こすことがある。意識喪失を起こすことがある。

物理的及び化学的危険性:
可燃性がある。熱、火花及び火炎で着火することがある。

分類の名称(分類基準は日本方式): 引火性液体、急性毒性物質

4 応急措置

吸入した場合:
新鮮な空気のところへ移動させる。呼吸が停止した場合は人工呼吸を行う。
呼吸が困難な場合は、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合:
多量の水で皮膚を洗い流す。刺激が持続する場合は、医師の診断を受ける。

目に入った場合:
多量の水で直ちに目をよく洗う。直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合:
吐かせてはいけない。患者にコップ2杯分の水を与える。直ちに医師の診断を受ける。意識を失っている患者には口からものを与えてはいけない。

5 火災時の措置

消火剤:
二酸化炭素、粉末消火薬剤、泡消火剤

消火方法:
ヘルメット、自給式呼吸器、防火服、腕、胴、脚等の保護バンド、頭部保護具を含む完全保護服を着用のこと。

火災時の措置に関する特記事項:
未評価

6 漏出時の措置

個人防護:
危険有害性情報、健康障害、呼吸保護具、換気、個人保護具については、本データシートの他項を参照。

除去方法:
周囲を換気する。すべての着火源を断つ。吸収材で覆う。
スパークしない道具を使って回収する。水で残さを清浄する。許可された金属容器に入れる。
容器を密封する。

廃棄方法:
有害物質用焼却設備で焼却する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い:
使用しないときは、容器を密閉しておく。

摂取防止:
摂取してはいけない。子供の手の届かない場所に保管する.

保管:
冷所に貯蔵する。使用しないときは、容器を密閉しておく。

換気:
換気状態のよい場所に容器を置く。

火災防止:
本品を取り扱い中は禁煙。

爆発防止:
熱、火花、裸火、その他発火の危険のあるものから遠ざける。可燃性液体と可燃性蒸気

8 暴露防止及び保護措置

設備対策:
換気の良い場所で使用する。蒸発物を暴露限界以下に保つため充分な換気を行う。

換気が充分でない場合は、適切な呼吸保護具を使用する。

管理濃度:

水 (7732-18-5)
数値: 設定されていない

石油系溶剤 (64742-14-9)
数値: 設定されていない

セラミック (66402-68-4)
数値: 設定されていない

ポリマーエマルジョン (営業秘密)
数値: 設定されていない

グリセリン (56-81-5)
数値: 設定されていない

ホワイトミネラルオイル(石油) (8042-47-5)
数値: 設定されていない

トリエタノールアミン (102-71-6)
数値: 設定されていない

許容濃度:

水 (7732-18-5)
日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 設定されていない
ACGIH TLV: 設定されていない

石油系溶剤 (64742-14-9)
日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 設定されていない
ACGIH TLV: 設定されていない

セラミック (66402-68-4)
日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 1 mg/m3 吸入性粉塵 4 mg/m3 総粉塵
ACGIH TLV: 設定されていない

ポリマーエマルジョン (営業秘密)
日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 設定されていない
ACGIH TLV: 設定されていない

グリセリン (56-81-5)
日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 設定されていない
ACGIH TLV: 10 mg/m3 TWA ミストとして 1985

ホワイトミネラルオイル(石油) (8042-47-5)
日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 設定されていない
ACGIH TLV: 設定されていない

トリエタノールアミン (102-71-6)
日本産業衛生学会 許容濃度 TWA: 設定されていない
ACGIH TLV: 5 mg/m3 TWA 1993

保護具、個人防護:

呼吸保護具:
蒸気の吸入をさける。切断又は研磨作業中に発生する粉じんの吸入を避ける。

保護眼鏡:
目への接触を避ける。
暴露の可能性のある作業に於いては密閉式ゴーグルを着用する。

保護手袋:

本品を扱う時は適切な手袋を着用する。
次記の材料で作られた手袋を使用すること。
ニトリルゴム、ポリビニルアルコール、フッ素ゴム

保護衣:
皮膚との接触を避ける。

9 物理的及び化学的性質

形状、色、臭い:	液状、ペースト状、粘ちょう、黄褐色、芳香臭
pH:	8.0
沸点／範囲:	100 ℃
融点／範囲:	未測定・不明
引火点:	53 ℃
発火点:	未測定・不明
爆発範囲—下限(%):	未測定・不明
爆発範囲—上限(%):	未測定・不明
蒸気圧:	未測定・不明
蒸気密度:	＞1(空気＝1)
比重:	1.0 (水＝1)
水溶性:	完全
蒸発速度:	4 (酢酸ブチル＝1)
粘度:	150 Pa.s

10 安定性及び反応性

安定性・反応性:	安定。危険な重合は起こらない。
避けるべき条件:	熱
避けるべき物質:	強酸化剤、火花又は火炎
有害な分解物:	一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、炭化水素

11 有害性情報

目に入った場合:
単回暴露した場合:
中程度の目の刺激:症状は発赤、腫脹、痛み、催涙、目のかすみを含むことがある。

皮膚に付着した場合:
単回暴露した場合:
アレルギー性皮膚反応を起こす可能性がある(症状は発赤、腫脹、水疱形成、かゆみを含むことがある)
中程度の皮膚刺激(長時間又は反復接触後):症状は発赤、腫脹、かゆみ、乾燥を含むことがある。

吸入した場合:
許容濃度以上で長時間又は反復暴露した場合:
頭痛、目眩、眠気、共調不能、反応時間遅延、言語障害、目眩感、意識喪失を含む中枢神経系への抑制作用を起こす。
上気道が刺激される可能性がある(症状は鼻と喉の痛み、咳、くしゃみを含むことがある)

飲み込んだ場合:
摂取した場合:
胃腸管組織が刺激される可能性がある(症状は痛み、嘔吐、腹部圧痛、はきけ、嘔吐物の混血、便の混血を含むことがある)
頭痛、目眩、眠気、筋肉虚弱、共調不能、反応時間遅延、疲労、かすみ目、言語障害、目眩感、ふるえ、けいれんを含む中枢神系への抑制作用を起こす。

12 環境影響情報

生態毒性:
未評価

その他環境影響情報:
規制は、地域により異なることがあるので、事前に適用法令の調査を行こなうか、又は役所に確認する。

13 廃棄上の注意

廃棄に関する特記事項:
関係法令に基づき自社で産業廃棄物として適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に処分を委託する。

14 輸送上の注意

国連番号: 1993 その他の引火性液体(その他の危険性を有しないもの)

国連分類(IMO): 3 引火性液体類

国連分類(ICAO): 3 引火性液体

容器等級: III

注意事項:
取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

15 適用法令

日本国内法規制(主な適用法令):
労働安全衛生法:施行令別表第6の2有機溶剤
労働安全衛生法:施行令18条の2 名称等を通知すべき有害物
消防法:指定可燃物(可燃性液体類)
船舶安全法:引火性液体類

16 その他の情報

特記事項: 危険、有害性の評価は、必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

改訂理由:
成分情報、危険有害性情報、適用法令及び様式等を変更

この製品安全データシートの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。
当社は、製品安全データシートの記載内容について、ある特定目的への適合性又は、商取引きへの使用等について一切の保証をするものではありません。
当社の製品が、ユーザー各位の特定の目的及び使用方法に適合しているか否かのは、ユーザーで判断して下さい。
ユーザー各位の使用条件に基づいた適正な安全管理に役立てて頂くため、当社の製品を使用する場合に影響があると考えられる種々の要因を提供したものです。